

# 九州地区子ども会育成研究協議会熊本大会に参加して

熊本市子ども会育成協議会 会長 山本一郎

第2部会 「かたらんね 子ども会会員減少問題を考えよう2」に参加し、ワークショップ形式で意見交換を行いました。私の班は、熊本県2名、福岡、鹿児島、長崎、熊本市各1名で計6名のグループでした。その中で、会員減少の原因としてあげられたのは、親が忙しい、役員になりたくない、友達が加入していない、地区の子どもの数が減少して子ども会の活動が出来ない、子ども会に対する認識不足などでした。

そこで課題を3つに分けて具体的に対策を話し合いました。

## 課題1：子ども会の良さの周知不足

〈良さ〉

- 「安全保険」…… 年に数百円の安さや自転車保険
- 「ジュニア・リーダー」…… 異年齢、異地域の子も同士の関わり、つながり、交流
- 「子どもの主体性」…… 大人は見守り・支援し、子ども達が企画・運営する

〈周知するには〉

- ☆保険会社からのアピール（年1回とか総会時）
- ☆地域の学校、教育委員会との対話が必要

## 課題2：子ども家庭（人の問題）

〈対策〉

- ☆地道な声かけ、あいさつ
- ☆子ども会活動を見せる。楽しそうな姿（みこし、現代風のイベント）

↓

地域で仲良くなる

- ☆楽しいもの、活動しているところ（子ども会）遊び

↓

学校活動 「子どもは月に1, 2回でも地域に返す。学校は土日、地域にかす。」

## 課題3：組織、ルールの問題、引き継ぎ等

〈対策〉

- ☆子ども会の明確なルール作り→子どもの主体性は基本スタンス
- ☆個人情報取扱などのルール作り→「〇〇子ども会個人情報取扱規則」
- ☆役員の引き継ぎをしっかりとる

以上、課題はどこも同じで沢山の意見を出し合い、有意義なワークショップになりました。

また、鹿児島からは、100%近い会員の加入があるとのことでした。その外は人員の減少が一番に上げられ、自治会ももっと子ども会のことを考えて欲しいという意見が出ました。



## 第54回九州地区子ども会育成研究協議会熊本大会 参加報告

熊本市子ども会育成協議会 事務局長 白石和典

令和5年11月11日（土）～12日（日）標記大会が、熊本市のホテル熊本テルサで開催されました。

私は第1部会に参加しました。約50人が先ず9班に分かれて協議し、後半は全体を4班に再編成して協議内容を深めました。

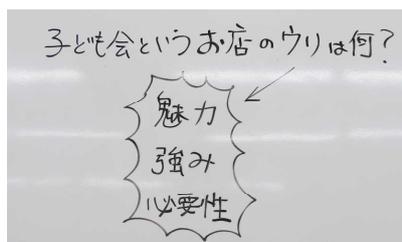
第1部会は次の2点について事前にアンケートを取ってあったので、当日の部会の中ではアンケートの会員減少の「原因」などについては意見を出し合わず、その先の対応としての「対策」を具体的に出し合いました。この場で原因から考えると、それに時間がとられ、課題解決までに到達しない恐れがあるとの運営者の判断でした。そのための事前アンケートであったと思います。

事前アンケート 【1】 会員減少の原因は何だと思いますか？  
 【2】 子ども会の魅力・必要性は何だと考えられますか？ 回答は別紙

■ 課題をより具体的に考えやすくするために、子ども会を1つの「商店」に例えるというファシリテーターの説明の元、子どもを「お客」としてその店をいかに「繁盛」させるか、〈売り〉は何か等についてを考えました。



ファシリテーター



↓  
 繁盛した店になる  
 (子ども会活動の活性化)



第3班

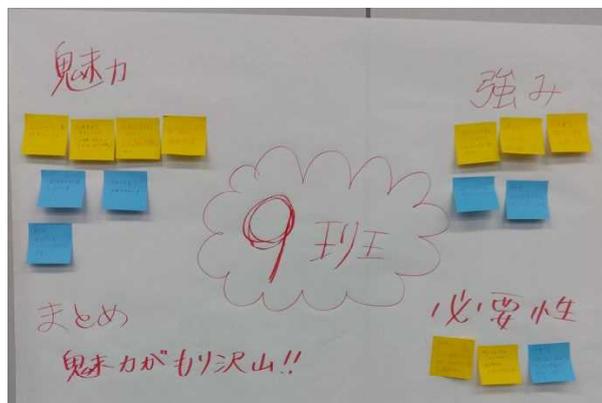
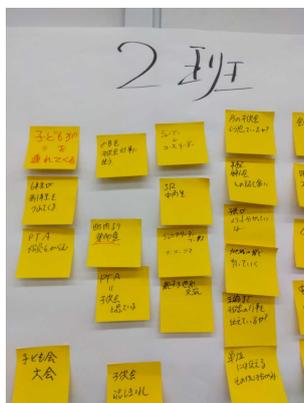
### 〈魅力ある活動〉

- ◎ジュニア・リーダーの活動（派遣）
  - ◎子ども会と地域が連携した活動
  - ◎地域の伝統行事を活かした活動
- などを発表しました。

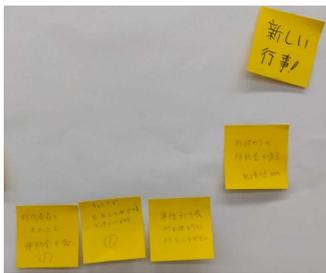
### 〈強み〉

- ある中学校の中に「地域生徒会」があり、子ども会をリードしている例の発表あり。

### ◆その他の班のまとめ



- ◇子どものやりたいことを計画
- ◇伝統文化を受け継いでいく
- ◇家庭や学校で出来ない体験活動
- ◇違う学校の子もたちとの交流の場



- 新しい行事
- 行政からの補助金
- 自治会長を巻き込む  
(補助金も含めて)
- キャンプで火起こし  
マッチのつけ方から

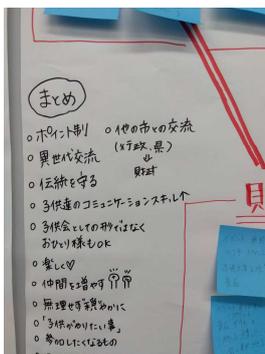
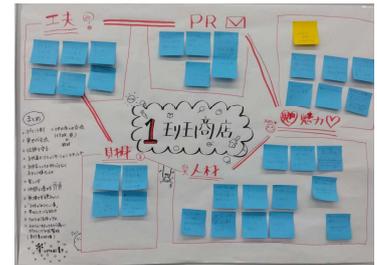
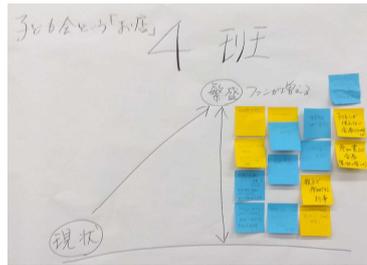


- 子ども会大会
- ホームページの活用
- ポスターなどで  
子ども会のアピール
- おすすめ行事
- ポイント制 など

■ 4班に再編後の活動は、前半の話し合いを元に、子ども会の現状と繁盛した店（活発な子ども会）のギャップを埋める為の意見を出し合い、まとめたことを、各班代表が発表しました。



4班の発表



- ◎ポイント
- ◎参加特典・子どもしか使えない金券
- ◎広報を活発に
- ◎伝統行事
- ◎地域・老人会などのバックアップ
- ◎子どもたちに行事を計画させる。(主体性)
- ◎親子参加



3班の発表

- ◎子どもたちで企画して予算を作るとお金がもらえて自分たちの企画で楽しめる。
- ◎育成者のサポーター登録
- ◎親に子ども会の楽しさを体験してもらう。
- ◎子どもの意見を直接聞く機会を作る。

■ 運営委員のまとめの後、時間が少し余り、他に何か発言はないかと全体に求められたので、熊本市子協として、単位子ども会の活性化のために、「子ども会活動紹介」を募集しHPに掲載して、他の子ども会がそれを参考にして活動できるようにしていること及びその活動を「子ども会活動の実際」というA5版冊子にして単位子ども会に配布していること、そして、子ども会から、HPを参考にしている例や、HPに載ることで、子どもたちが活発に活動し、参加する人数が増えたとの報告があったこと等を紹介しました。

そうしたら、部会終了後、他の市子連からも、実際に熊本市のHPを参考に活動していると話しかけられました。他市町にも役立っているようです。このように熊本市子協の取り組みが、県内外で子ども会活動の活性化に寄与していれば有り難いです。

□「子ども会活動の実際」は7冊目になり、本年度中に8冊目を印刷の予定です。7・8をまとめて単位子ども会に1又は2月に郵送しますが、今までのも含めて、是非子ども会活動の参考にしてください。そっくり同じでなくても、子ども会の実情に応じて、簡略したり、変更したりして、楽しい子ども会活動を目指してほしいと思います。工夫次第ではいくらかでも子どもたちが楽しめる活動にすることができると思います。そしてそのことが子ども会の会員減少に繋がると思います。

【1】 会員減少の原因は何だと思いますか？

・少子化

地域に偏りはあるが、子どもの人数が減っているのは事実である。そこで、子ども会会員を中学生にまで広げて会を維持している子ども会もある。少子化そのものを止めることはできないので、少子化を受け止めそれを補う方策を考えることも必要である。

・保護者の協力不足

元々役員等になりたがらない・苦手という保護者がいることもあり、今は乳幼児がいて協力ができにくいということもある。前者の場合は子どもが5、6年生になるとやめていく。(保護者のせいばかりでなく子どもの関心が変わっていくこともあるが)後者の場合は、今は加入しなくても余裕が出てきたら加入するかもしれない。

ただ単に、保護者の協力不足とだけ捉えないで、いろんな事情の保護者がいるので、それらに寛容の精神で対応できれば良いが、一律に役員が回ってくるとなると加入が難しくなる。ということもあるのではないかと。しかしそれでは、出来る人だけに負担がかかることになり、対応は難しい問題である。

・子ども会活動の魅力不足

子どもの生活・活動・興味の多様化が進み、このことに対して子ども会としては対応がほとんど出来ない。子どもや保護者の意識を子ども会活動に向かせることが難しい。魅力ある子ども会が行われていてもその啓発(発信)不足も考えられる。どんな活動が魅力ある活動かを考える必要が有るが、一つの子ども会では十分考えが及ばないことも考えられる。他の子ども会活動を参考にすることも有効である。

・会員のメリットがわからない

メリットには物質的メリットと精神的メリットがある。熊本県子連が取り組んでいる協賛施設の設定は利用施設から受ける料金割引や物品による利益がある。熊本市子協が取り組んでいる主催事業の子ども会大会は会員が参加し、ゲームでの景品や抽選会での景品を受け取れる。また、熊本市各加入子ども会には、活動の参考のために様々な資料(冊子等)を提供している。また、子ども会活動のためのニュースポーツ用具が借りられるなど物質的メリットがある。

さらに、熊本県子連の協賛事業や熊本市子協の事業に参加することで、体験や活動の内容が広がり・集団のつながりの深まりなどにより、心豊かな子どもの育成に寄与できるなどの精神的メリットがある。これら様々なメリットがあるが、それを十分伝え切れていないのではないかと。

・習い事(野球・サッカー・塾等)との掛け持ちで忙しい

子ども達が、習い事等を行うことは大切なことである。しかし、子ども会活動は子どもの主体性的活動を基本として、なるべく親に負担のかからない活動を計画し、参加できるときで良いから、一緒に活動しようという、緩いルールの活動はいかがだろうか。

・その他ご意見

○PTAの組織や、自治会の組織に組み込み活動するので、保険関係はそれらを利用するので、全子連の保険には加入しない、という例がある。保険料の負担は軽くなり金銭的には得するかもしれないが、それでは、本来の、意義ある子ども会活動は出来にくいと思う。PTAはあくまでも大人の活動であり、子どもの活動に視点を当てた、子どもによる子どものための子ども会活動にはならないと思う。子ども会活動の意義のさらなる啓発が必要である。

【2】子ども会の魅力・必要性は何だと考えられますか？ご意見をご記入をお願いします。

○子ども会は、地域の異年齢の子ども達の集団で、学校生活とも、家庭生活とも、PTA活動とも違う、子どもが主体の活動なので、その中の人や、関わる周りのいろいろな人との出会い・交流を通して、子ども会ならではの人間関係が築かれる。そんな中で、社会性、自主性、協調性、責任感、自立心などが育まれ、学校教育だけでは得られないものなどを補完する重要な教育活動である。

○みんなと一緒に遊んだり、いろんな行事(活動)に参加したり体験したりすることで、楽しみながら、自然に社会性、自主性……等が身についていく。これらは社会を生き抜く力、自分らしく活躍できる力となる。そしてそれは多様で変化の激しい社会に求められる力である。